JLAC検査名称の読み方

**2025年４月更新**

**※変更・追記点:太字**

1. 概要

JLAC検査名称は、JLAC11にて新たに設定したJLAC独自の名称である。付番時の「ガイド」として利用することを目的とする。但し、JLAC検査名称は、標準検査名称を想定したものではない。

**JLAC検査名称は、ファイル名：JLAC11コード一覧(検査試薬\_JLAC10コード付番付帯)に記載されている。**

2. JLAC検査名称の構成

(1) JLAC検査名称は、主に測定物（5桁）、識別（4桁）、材料（3桁）の12桁のコードの組み合わせに対して表現される。

(2) 補助的な要素を、名称の後に括弧つきで付記することができる。補助的な要素とは、別名および特に指定する測定法などとする。

例） 蛋白（髄液一般検査）、赤血球数（RBC）

(3) 測定結果の表現型や一連の測定結果（固定識別）については、名称の後にハイフンを付けて表現することができる。

例） HBs抗体‐測定値、血液像‐リンパ球（%）

3. 基本ルール

1. JLAC検査名称は、一般的な“呼び名”を基本とし利用者に馴染みの多い名称とする。
2. 名称に使用する文字数は、255文字以内とする。（算用数字を含む）
3. ひらかな、カタカナ、漢字（日本語）は全角、英数記号は半角とする。

(5) 括弧：()、ハイフン、:、‐、スペースは半角とする。

(6) ローマ数字は使用せず、算用数字に置き換える。

例） PIVKA-2

(7) 環境依存文字は、ギリシャ文字以外は使用しない。

(8) 「、」（カンマ）については、使用しない。

(9) 材料名は基本的に記載するが、血清・血漿・全血については、特に区分が必要でない場合は記載しない。材料を指定する場合は、項目名の先頭に記載する。

例） 尿蛋白、尿糖